

技術名称：分解促進型タックコート工法（スーパータックゾール工法）

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

技術部門（主）：長寿命化部門

登録  
区分

区分3：活用促進技術

区分2：試行段階技術

区分1：開発・改良支援技術

■技術概要・ポイント（写真・図面等を適宜貼付）

従来製品は、乳剤散布後、分解するまでに路面温度20℃以下では40分以上を要するが、新技術では、専用の散布機械を用いて促進剤とともに乳剤を散布することで、路面温度に関わらず、乳剤の分解時間を5分以内に短縮できる。また、従来技術と比べて引張接着強度が強いため、表層と基層がより剥がれにくくなる。  
そのため、舗装の長寿命化が期待できる。



■公共事業における施工・活用方法

施工手順は、従来技術と同様。

- ①準備工
- ②ディストリビュータによる、当該製品散布
- ③分解硬化養生（約5分）
- ④舗装工施工

■適用条件等（自然条件・現場条件等の活用上の留意点）

適用事業

- 1. 道路
- 2. 河川
- 3. ダム
- 4. 砂防
- 5. 港湾
- 6. 海岸
- 7. 下水道
- 8. 公園
- 9. その他
- 10. 全般

従来技術では、乳剤散布後すぐに次の工程に取り組めないが、本技術では、5分以内に乳剤分解できるため、工程時間の短縮ができる。また、冬期の施工でも、乳剤の養生時間が殆ど必要なく、日当たり施工量の増大および、早期の交通開放が期待できる。特に効果の高い適用箇所は、乳剤の分解に時間を要する寒冷期の施工や、施工時間が制限される集中工事、市街地や幹線道路等の規制時間を短縮したい工事となる。



■技術の成立性

従来技術よりも接着強度が1.7倍であり、耐久性に優れる。また、舗設機械のタイヤに未分解の乳剤が付着しないため、タックコートの損失がない。そのため、確実に層間の接着を行うことができる。また、乳剤がすぐに分解するため、施工直後に降雨があった場合でも乳剤が周囲に流出しにくく、環境面の保護につながる。

開発

- 1. 単独
- 2. 共同研究(民民)
- 3. 共同研究(官民)
- 4. 共同研究(民学)

体制等

開発会社：ニチレキ株式会社

販売会社：ニチレキ株式会社

協会：

技術部門（副）（副次的効果）

部門

技術名称：分解促進型タックコート工法（スーパータックゾール工法）

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

■活用の効果（技術部門（主部門）のアピールポイント）

※従来技術名（タックコート乳剤PK-4）

項目	活用の効果			発現する効果	
				申請技術	従来技術
経済性	向上 (58%)	同程度	低下 (%)	工程短縮により、日当たり施工面積増が見込め、施工効率が向上する。	乳剤の分解硬化時間に1.0h以上要するため、日当たり施工面積が少なくなっていた。
工程	短縮 (18%)	同程度	増加 (%)	路面温度20℃の条件で、従来上下線合計で80分を要した乳剤養生時間が2分に短縮される。	路面温度20℃の条件で、従来上下線合計で80分以上の乳剤養生時間を要する。
品質・出来形	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
安全性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
施工性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
環境	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
維持管理性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度である。	申請技術と同程度である。
その他	向上	同程度	低下	該当なし	該当なし

**技術名称：分解促進型タックコート工法（スーパータックゾール工法）**

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

■活用実績

発注者	県内件数	県外件数
広島県	142 件	—
その他公共機関	130 件	23,075 件
民間等	9 件	539 件

発注者	年度	公共工事名(事業名)
広島県	R4	一般国道433号舗装道補修工事（下石工区）
広島県	R3	主要地方道吉田邑南線舗装道補修工事
広島県	R3	一般国道375号ほか舗装道補修工事
広島県	R3	主要地方道矢野安浦線舗装道補修工事
広島県	R3	一般県道広島海田線舗装道補修工事
国交省広島国道事務所	R2	国道31号呉地区舗装修繕工事
広島県	R2	一般国道432号舗装補修工事
広島県	R2	一般国道432号舗装補修工事

■国土交通省 (NETIS) への登録状況

申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価(事前・事後)
東北地方整備局	2014年12月04日	TH-140008-VE	事後評価済み

■建設技術審査証明の発行状況

発注機関名	証明書発行年月日	証明書番号

■国及び都道府県等による技術的審査を受けている状況

なし

■知的財産等

特許・実用新案				番号
特許	1. あり	2. 出願中	3. 出願予定	4. なし
実用新案	1. あり	2. 出願中	3. 出願予定	4. なし

■当該技術の課題と今後の改良予定

【課題】  
コストダウン